図書館だより

7月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	⑥	7	8	9	10	11
12	⑬	14	15	16	17	18
19	⑳	㉑	22	23	24	25
26	㉗	28	29	30	㉛	

○印　休館日
月曜日・祝日振替（21日）
月末館内整理日(31日)

今月の新刊図書案内

一般図書

記憶を書きかえる　イアン・ハッキング
ノモンハンの夏　半藤一利
日本再敗北　山田厚史
親子の作法　船曳建夫
おいしい野菜は自分でつくる　加藤良仁
オペラと映画の素敵な関係　金子一也
美しい敬語のマナー　鈴木雪子
私という小説家の作り方　大江健三郎
恋を売る家　大城立裕
葡萄物語　林真理子
夜明けの家　古井由吉
水の抱擁　山本道子
男もの女もの　丸谷才一
辺境・近境　村上春樹
外二六一冊

児童図書

なににみえるかな？日本の県地図
ツバメの街
おイモのひみつ
犬のことば辞典
雨ふり花さいた
がんばれ、セリーヌ！
道草いっぱい
こわがりトミー
外一二一〇冊

課題図書

これらの図書の貸出期間は、多くの方々に読んでいただくために、夏休み期間中特に一週間となります。なお、これらは、左表の「一坪図書館」や各地域コミュニティセンターでもご利用になれます。

小学校低学年
からだっていいな
なぞなぞライオン
ミナクローと公平じいさん
オタマジャクシの尾はどこへきえた

小学校高学年
ぼくの一輪車は雲の上
シンタのあめりか物語
しらんぷり
車いすからこんにちは

中学校
ハッピーバースデー
ハロウィーンの魔法
夢をつなぐ

高等学校
小川は川へ、川は海へ
うわの空で
トットちゃんとトットちゃんたち

名作から　今月の一冊

市立図書館

『妹になるんだワン！』

スーザン・E・ヒントン作
徳間書店刊

あたらしい家族のもとに引き取られた小犬のアリーシャは、人間になることを決心した。でも人間になるのは思っていたよりずっとたいへんで…。やんちゃな小犬が女の子になろうと大奮闘。奇想天外な成長ぶりを、いきいきと描く。

『それぞれの断崖』

小杉健治著　日本放送出版協会

人はみな心に断崖をもっている。少年犯罪の陰に隠れた被害者の家族の無念、やり場のない怒り、少年法の矛盾、そして家族の絆を、息子を殺された父親の崩壊から再生までの姿を通して、感動的に描く。

八代直之

都留市一坪図書館

館長名	所在地	電話	開館日	開館時間
佐波佳子	上谷5―5―28	(45)0080	日	9時～12時
佐藤泰道	大幡3417	(43)2095	日	8時～11時
八代直之	大幡1541	(43)3329	土	13時～15時
北村あや子	四日市場1104	(43)3579	日	16時～18時
前田　憲	与縄1284	(45)0207	土	14時～16時

心の健康シリーズ（63）

子どもの良心は両親が作るのです

今は物の豊かな社会となり、子どもの欲求はエスカレートするばかりです。

二年生のある子どもが、友達とスーパーでチョコレートを万引きしたのを母親が聞き、びっくりして、すぐ子どもを連れてお店へ行き、謝ったということです。その時、母親はお店の人に「もしまた、こんなことがあったら、その場でぜひ厳しく注意をしてください。そしてお手数でも私の所までお知らせください」と頼みました。

すると、お店の人が「今は、うっかり注意も出来ないんです。前に一度、現場を見付けたので、親に連絡してきていただき注意したら、謝るどころか『何よ。百円くらいのもので！お金を払えばいいでしょ！』と開き直って、えらい剣幕で怒鳴られた」と話されました。

また、ある学校の一年生がたびたび万引きをしていたことを聞いた担任が、親を呼んで話し合おうとしたら「万引きするような子どもに教育している学校へは、うちの子どもを預けておくわけにはいきません…」と言われ、開いた口がふさがらなかったと嘆いている話を聞いたことがありました。

スーパーで責任者を務めたことのある人から聞いた話ですが、万引きをして、つかまった我が子を引き取りにきた親の姿には時代の変遷があると言うのです。

昭和四十年代にスーパーができはじめ、そのころは「どうしてこんなことをやってしまったの」と、泣きながら子どもを叱り、お店の人に謝ったそうです。

昭和五十年代ころになると「いくら払えばいいの、いくらなの！」と金さえ払えば文句ないだろうという態度になった。

昭和六十年ころには「どうして子どもが欲しがるものを子どもの手の届くところにおいておくんです。置いて置くほうが悪いんですよ」と逆にお店を逆恨みするようになったと言うのです。

そしてその人は、「社会が悪いのか、親が悪いのか世の中が逆さになっていますよ」と淋しそうに話していました。

これは特例かも知れませんが、こんな親のもとでは良い子は育ちません。

幼児期から小学校低学年位までは道徳性の「他律的道徳時代」と呼んでいます。善悪の判断が確立していないので、親がこの時期「良いことは良い、悪いことは悪い」をはっきり教えなければなりません。

子どもは親の姿を見ています。

子どもの良心は、両親が育むのです。

子どもの悩みごとは
教育相談室へ
（八朔屋台展示庫前）
月～金　午前9時～
午後4時30分
☎(43)1323